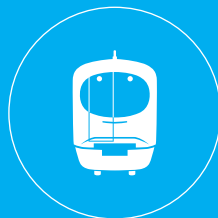
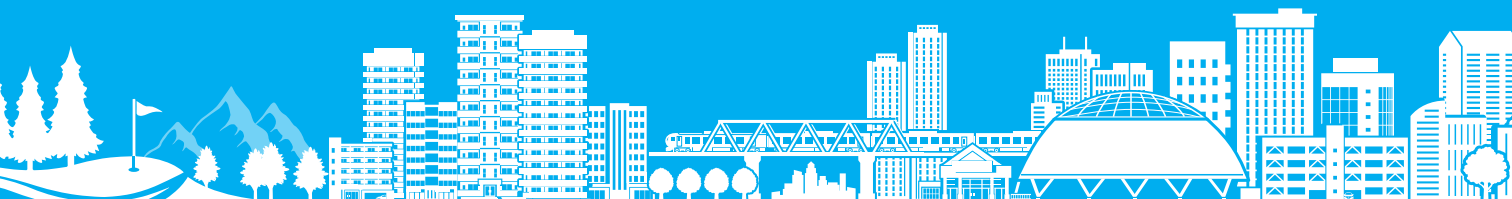


Jun.24,2026

Seibu Holdings



でかける人を、ほほえむ人へ。



第21回 定時株主総会 招集ご通知

開催日時

2026年6月24日（水曜日）
午前10時（受付開始：午前9時予定）

開催場所

埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の2
西武第二ビル（8階）くすのきホール

決議事項

第1号議案 剰余金の配当の件
第2号議案 取締役14名選任の件
第3号議案 監査役3名選任の件

株式会社西武ホールディングス

（証券コード 9024）

インターネット等及び書面による議決権行使期限

2026年6月23日（火曜日）午後5時まで

ライブ配信のご視聴には、議決権行使書の右片に記載のQRコード、ID・パスワードが必要になりますので、大切に保管してください。

各議案や議決権行使等のご案内はこちらから！
（代表取締役社長西山がご案内します）
<https://www.seibuholdings.co.jp/ir/stock/meeting/>



Group Vision

グループビジョン

グループ理念

私たち西武グループは
地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、
安全で快適なサービスを提供します。
また、お客さまの新たな感動の創造に
誇りと責任を持って挑戦します。

グループ宣言

私たちは、「お客さまの行動と感動を創り出す」
サービスのプロフェッショナルをめざします。

1. 誠実であること

常に、「安全」を基本にすべての事業・サービスを推進します。

常に、オープンで、フェアな心を持って行動します。

常に、お客さまの声、地域の声を大切にします。

2. 共に歩むこと

常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。

常に、地域社会の一員として行動します。

常に、グループ内外と積極的に連携を図ります。

3. 挑戦すること

常に、グローバルな視点を持って行動します。

常に、時代を先取りする新しいサービスを提案します。

常に、お客さまの生活に新しい感動を提供します。

スローガン

でかける人を、ほほえむ人へ。

目次

グループビジョン	1
ごあいさつ	2
第21回定時株主総会招集ご通知	3
議決権行使方法のご案内	5
株主総会ライブ配信のご案内	7
株主総会参考書類	8

ごあいさつ

株主の皆さまへ



日頃より、西武グループをご支援・ご愛顧いただき誠にありがとうございます。

現在、社会経済環境は急速に変化し、将来予想が困難なVUCAがますます深まっております。西武グループは、2035年度を見据えた長期戦略におけるありたい姿(アウトカム)として「Resilience & Sustainability -安全・安心とともに、かけがえのない空間と時間を創造する-」を掲げ、歩を進めております。さらに、グループの基盤強化に加え、「脱炭素・資源有効活用」「住みたいまち・訪れたいまちづくり」「五感を揺さぶる体験創造」という3つの成長に資するマテリアリティ（重要テーマ）に積極的に取り組み、「西武グループらしさ」を通じた価値創造を推進してまいりました。

アウトカムの実現に向け、当グループは次なるステージへと進みます。このたび、業務執行における役割と責任を見直し、代表取締役ならびにCEO（最高経営責任者）、COO（最高執行責任者）を西山隆一郎が担い、グループを牽引していく新体制へと移行いたしました。

私自身は今後、取締役会長 会長執行役員として、将来へ向けて長期的かつ大局的な視点から、グループ全体の持続的成長に向けた取り組みを継続してまいります。グループが一体となってさまざまな社会課題の解決とトータルステークホルダーサティスファクションの向上を実現し、グループビジョン「でかける人を、ほほえむ人へ。」を体現してまいります。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

取締役会長 会長執行役員

後藤高志



株主の皆さまには、日頃より当社事業にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

西武グループはこれまで、未曾有の事業環境の変化を乗り越え、持続的な成長の土台作りを企図した経営改革を断行し、強固な経営基盤を築いてまいりました。

このたび、その土台をもとに「西武グループ長期戦略2035」の実現を次なるステージへと牽引するため、私がこれまでの代表取締役社長執行役員兼COOに加え、新たにCEOの役割を担うこととなりました。

今後の成長の鍵は、不動産事業を核とした持続的な成長にあります。従来の保有前提から「保有とキャピタルリサイクル」の両輪で成長させるビジネスモデルへの転換を推し進めております。西武グループが保有する物件の資本効率性を検証し、その結果に応じた戦略を果敢に実行し、流動化した場合にはそこから得た資金を都心エリア、西武鉄道沿線の再開発、リゾート開発などへ再投資することで、ネットアセットバリューの成長を実現してまいります。今般、その受け皿となる西武ファンド構想の具体化としての私募REIT構想を発表しており、さらに不動産戦略を加速してまいります。

今年、現在進行中の中期経営計画（2024～2026年度）の総仕上げと次なる飛躍に向けた重要な局面を迎えており、CEOかつCOOとして、私自らが先頭に立ち、過去最大水準の設備投資をはじめとする攻めと守りの施策を完遂し、着実な成長の軌道を確認するものにしていく所存です。

全社職員と力を合わせて、株主の皆さまの期待に応えてまいります。今後とも、西武グループへの変変わらぬご支援をお願いいたします。

代表取締役社長 社長執行役員 兼 CEO 兼 COO

西山隆一郎

(証券コード 9024)
2026年6月2日

株主各位

東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
株式会社西武ホールディングス
代表取締役社長 西山 隆一郎

第21回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第21回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、インターネット等又は書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討いただき、2026年6月23日（火曜日）午後5時までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

本株主総会の招集に際しましては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイト「第21回定時株主総会招集ご通知」、「第21回定時株主総会ご報告」及び「第21回定時株主総会【交付書面に記載しない事項】」として掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト	https://www.seibuholdings.co.jp/ir/stock/meeting/
----------	---

当社ウェブサイト



東証ウェブサイト	https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show
----------	---

東証ウェブサイト



※東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しております。上記の東証ウェブサイトアクセスし、銘柄名（西武ホールディングス）又は証券コード（9024）を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

株主総会資料掲載ウェブサイト	https://d.sokai.jp/9024/teiiji/
----------------	---

株主総会資料掲載ウェブサイト



※株主総会資料掲載ウェブサイトについては2026年5月30日（土曜日）から閲覧が可能になります。

敬 具

記

1 日 時	2026年6月24日（水曜日）午前10時 （受付開始時刻は午前9時を予定しております。）
2 場 所	埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の2 西武第二ビル（8階） くすのきホール
3 目的事項	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第21期（2025年4月1日から2026年3月31日まで） 事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第21期（2025年4月1日から2026年3月31日まで） 計算書類の内容報告の件 <p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 剰余金の配当の件 第2号議案 取締役14名選任の件 第3号議案 監査役3名選任の件
4 招集にあたっての決定事項	<p>①議決権行使書により複数回議決権を行使された場合及びインターネット等により複数回議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効なものとしたします。また、議決権行使書とインターネット等により重複して議決権を行使された場合は、インターネット等により行使された内容を有効なものとしたします。</p> <p>②議決権行使書において、各議案についての賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示があったものとして取扱います。</p>

以 上

第21回定時株主総会【交付書面に記載しない事項】について

以下の事項につきましては、法令及び当社定款第13条に基づき、本招集ご通知3ページに記載の各ウェブサイトに掲載しておりますので、第21回定時株主総会ご報告には記載しておりません。

- ①事業報告の「主要な事業内容及び営業所等」、「会社の新株予約権等に関する事項」、「会計監査人の状況」及び「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」
 - ②連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」
 - ③計算書類の「貸借対照表」、「損益計算書」、「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」
 - ④監査報告書の「連結計算書類に係る会計監査人の監査報告」、「会計監査人の監査報告」及び「監査役会の監査報告」
- なお、監査役及び会計監査人は、各ウェブサイトに掲載する①～③の事項を含む監査対象書類を監査しております。

●電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトに修正内容を掲載させていただきます。

議決権行使方法のご案内

株主総会における議決権の行使には、以下の3つの方法があります。

各議案、
議決権行使等
のご案内

株式会社 西武ホールディングス
第21回 定時株主総会
各議案・議決権行使等のご案内

事業報告等
のご案内



QRコードを読み取り
ご覧ください



スマート行使で議決権行使していただき、
アンケートに回答された株主さまへの
プレゼント企画

スマート行使で議決権行使かつアンケートに回答いただいた株主さまの中から、抽選で100名さまにつき1名さまの割合で「ISEIBU Smile POINT 1,000ポイント」や「Lポイント 1,000ポイント」を進呈いたします。詳しくは本招集ご通知とあわせてお送りしております書面をご覧ください。



1

インターネット等による議決権の行使

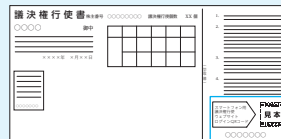
当社指定の議決権行使ウェブサイトにて議案に対する賛否をご入力ください。

行使期限 2026年6月23日（火曜日）午後5時入力完了分まで

1-1 QRコードを読み取り、議決権行使をする方法（「スマート行使」）

- ① スマートフォンで議決権行使書の右下に記載のQRコードを読み取り、画面上部の「議決権行使サイトへ」ボタンを押下してください。
- ② 画面の案内に従って議案の賛否をご入力ください。

※上記のQRコードを用いた議決権行使は1回に限り可能です。再行使する場合は、下記の「1-2 議決権行使コード・パスワードを入力する方法」をご確認ください。
※QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。



※議決権行使書はイメージです



1-2 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

当社指定の議決権行使ウェブサイト（<https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>）にアクセスし、議決権行使書右片の裏面に記載の「議決権行使コード」及び「パスワード」をご入力いただき、画面の案内に従って議案の賛否をご入力ください。なお、初回ログインの際に、「パスワード」を変更していただく必要があります。



議決権行使ウェブサイトの画面



2

議決権行使書の郵送

議決権行使書に議案に対する賛否をご記入のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

行使期限 2026年6月23日（火曜日）午後5時到着分まで



3

株主総会への出席

議決権行使書を会場受付にご提出ください。

なお、株主総会にご出席になれない場合、議決権を有する他の株主1名を代理人として株主総会に出席されることが可能です。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。

日時 2026年6月24日（水曜日）午前10時（受付開始：午前9時予定）

場所 埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の2
西武第二ビル（8階）くすのきホール（末尾の「株主総会会場 ご案内図」をご参照ください。）

「1 インターネット等による議決権の行使」で、スマートフォン・パソコンの操作方法等がご不明の場合は、以下までお問合せください。

みずほ信託銀行 証券代行部
インターネットヘルプダイヤル



0120-768-524（午前9時～午後9時）

議決権電子行使プラットフォームのご利用について（機関投資家の皆さまへ）

管理信託銀行等の名義株主さま（常任代理人さまを含みます。）につきましては、事前のご利用申込みをいただくことにより、株式会社東京証券取引所等により設立された株式会社ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことができます。

株主さまの議決権行使が、明るい社会・未来づくりにつながります。

「スマート行使」等により削減される郵送費用の一部を「L-FRIENDS」活動に寄付いたします。



西武グループでは、「サステナビリティアクション[※]」を推進しております。その取り組みの一つとして、埼玉西武ライオンズでは、L-FRIENDS活動（地域活性・子ども支援・野球振興・環境支援）を通して、地域の様々な問題解決などに取り組んでいます。

「スマート行使」をはじめとする「1 インターネット等による議決権の行使」をご利用いただくことにより削減される郵送費用の一部を、当活動に寄付いたします。

株主さまの議決権行使が、明るい社会・未来づくりにつながる「スマート行使」等を是非ご利用ください。

「L-FRIENDS」とは

「L-FRIENDS」は、地域・ファン・選手・スタッフをひとつの仲間としてつなぎ、みんなでほほえみあふれる未来を作ることを目指す活動です。

当社は、第20回定時株主総会において「スマート行使」等により削減された郵送費用の一部を「L-FRIENDS」活動に寄付いたしました。その寄付金は、埼玉県内の小学1年生にプレゼントするライオンズオリジナル・ベースボールキャップの制作費の一部として活用し、2026年4月に約5万人の小学1年生にお届けしました。

今後もこの活動に賛同していただける方々とともに、一丸となり持続的に取り組んでいきたいと考えています。



※西武グループでは、グループにおける社員一人一人の行動指針である「グループビジョン」に基づき行っている幅広い事業・サービスにより持続的な社会形成への課題対応を図ることで、当社としても持続的かつ力強い成長を目指しております。この持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」と呼んでおります。

株主総会ライブ配信のご案内

第21回定時株主総会の模様をインターネットでライブ配信いたします。

当社の株主総会の模様をご自宅等でもご覧いただけるよう、以下のとおり株主さま向けにインターネットでライブ配信をいたしますので、是非ご利用ください。

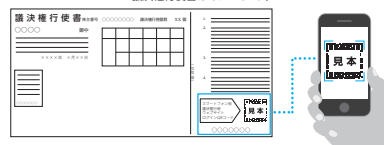
配信日時

2026年6月24日（水曜日）午前10時から株主総会終了時刻まで
※株主総会ライブ配信サイトは、午前9時30分頃開設予定です。

視聴方法

1. スマートフォンやタブレット端末で視聴する場合

- ① 本定時株主総会招集ご通知に同封しております議決権行使書の右下に記載のQRコードを読み取ります。
※議決権行使書はイメージです
- ② 画面上部の「株主総会ライブ配信」からご視聴ください。




2. パソコンで視聴する場合

- ① 「株主総会ライブ配信サイト (<https://smart-sr.m041.mizuho-tb.co.jp/SA>)」よりアクセスし、議決権行使書右片の裏面に記載の「議決権行使コード」と「パスワード」にてログインしてください。
- ② 「株主総会ライブ配信サイトへ」ボタンを押下してください。
以降は画面の案内に従ってご視聴ください。

- ・事前に議決権行使をされる場合も、当日のライブ配信はご覧いただくことができます。
- ・ライブ配信の視聴方法等に変更がある場合は、最新の情報を当社ウェブサイト (<https://www.seibuholdings.co.jp/ir/stock/meeting/>) でお知らせいたします。
- ・当日ご出席いただいた株主さまの容姿は映さないように配慮いたしますが、やむを得ず映り込んでしまう場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・ライブ配信では、ご質問などのご発言はお受けすることができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ライブ配信をご覧になるための「議決権行使コード」及び「パスワード」を第三者に共有すること、ライブ配信の模様を録音、録画、公開等することは、お断りいたします。
- ・ご使用のパソコン環境や、インターネットの接続環境等により、映像や音声に不具合が生じる場合がございます。
- ・ご覧いただく場合の通信料金等は、株主さまのご負担となります。

お問合せ先

ご不明点は、**みずほ信託銀行 証券代行部**（以下）までお問合せください。
 0120-288-324（平日 午前9時～午後5時）

第1号議案 剰余金の配当の件

当社は、「西武グループ長期戦略2035・中期経営計画（2024～2026年度）」において、企業価値向上につながる成長投資を優先しつつ、株主還元の安定性及び継続的な強化を図ることを基本方針としております。その上で、DOE2.0%を下限とする累進配当を導入することで、安定的な配当とあわせ、収益向上を通じた増配を実現することとしております。

第21期の期末配当につきましては、上記配当方針のもと、足元の業績を勘案のうえ増配し、1株当たりの普通配当を22円といたしたいと存じます。

なお、本議案が原案どおり承認可決された場合には、当期の1株当たりの年間配当金（中間配当金20円、期末配当金22円）は、前期からは2円増額の42円となります。

① 配当財産の種類

金銭

② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

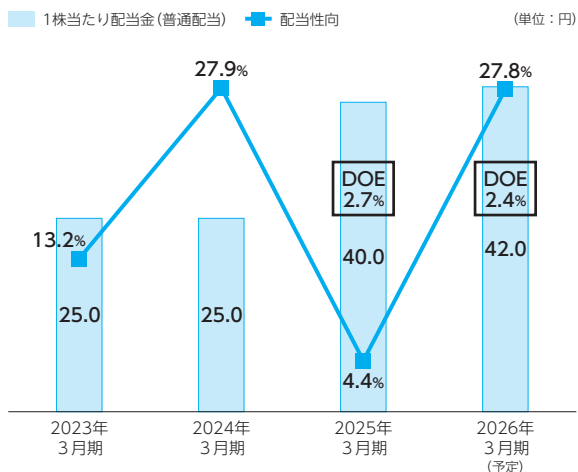
当社普通株式1株につき金22円

総額 6,722,994,278円

③ 剰余金の配当が効力を生じる日

2026年6月25日

〈ご参考〉 1株当たりの年間配当金及び配当性向の推移



第2号議案 取締役14名選任の件

取締役全員（14名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役14名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。また、当社の取締役候補者の指名の方針及び手続は25ページ、社外役員の独立性判断基準は29ページをご参照ください。

候補者番号	氏名		現在の当社における地位・担当	
1	後藤高志	男性	取締役会長	再任
2	西山隆一郎	男性	代表取締役社長兼CEO兼COO コンプライアンス部	再任
3	石原雅行	男性	取締役 不動産事業統括、第二事業戦略部	再任
4	古田善也	男性	取締役 経理部、財務部	再任
5	山崎公之	男性	取締役 監査・内部統制部、情報システム部	再任
6	原田武夫	男性	経営企画本部	新任
7	石橋憲司	男性	人財戦略部	新任
8	多々良嘉浩	男性	広報部	新任
9	辻廣雅文	男性	取締役	再任 社外 独立役員
10	有馬充美	女性	取締役	再任 社外 独立役員
11	小林洋子	女性	取締役	再任 社外 独立役員
12	高橋雅美	男性	取締役	再任 社外 独立役員
13	池田唯一	男性	取締役	再任 社外 独立役員
14	新井佐恵子	女性		新任 社外 独立役員

【上記14名の各候補者に関する注記】

- 各候補者の年齢は、本総会終結時の満年齢となります。
- 各候補者（原田武夫、石橋憲司及び多々良嘉浩の3氏を除く）が所有する当社株式の数は、2026年3月31日現在の株式数であり、役員持株会名義で所有する持分株数を含めております。
- 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しており、当該保険契約の内容の概要は、第21回定時株主総会ご報告の21ページに記載のとおりです。新井佐恵子氏を除く各候補者は、現職において当該保険契約の被保険者となっており、本議案において選任が承認された場合、引き続き被保険者となります。また、新井佐恵子氏の選任が承認された場合、同氏も当該保険契約の被保険者となります。また、各候補者とも、次回更新時には、同内容での更新を予定しております。

【上記社外取締役候補者6名に関する注記】

- 当社は、辻廣雅文、有馬充美、小林洋子、高橋雅美及び池田唯一の5氏の間で、会社法第423条第1項の賠償責任を会社法第425条第1項に定める最低責任限度額に限定する責任限定契約を締結しており、5氏の再任が承認された場合は、当該責任限定契約を継続する予定であります。また、新井佐恵子氏の選任が承認された場合、同氏との間で他5名の社外取締役と同様の責任限定契約を締結する予定であります。
- 当社は、辻廣雅文、有馬充美、小林洋子、高橋雅美及び池田唯一の5氏を東京証券取引所の定めにに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、5氏の再任が承認された場合は、引き続き独立役員として届け出る予定であります。また、新井佐恵子氏の選任が承認された場合、同氏を東京証券取引所の定めにに基づく独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

●本総会最終後の取締役会及び各委員会等の構成、各取締役が有するスキル・経験

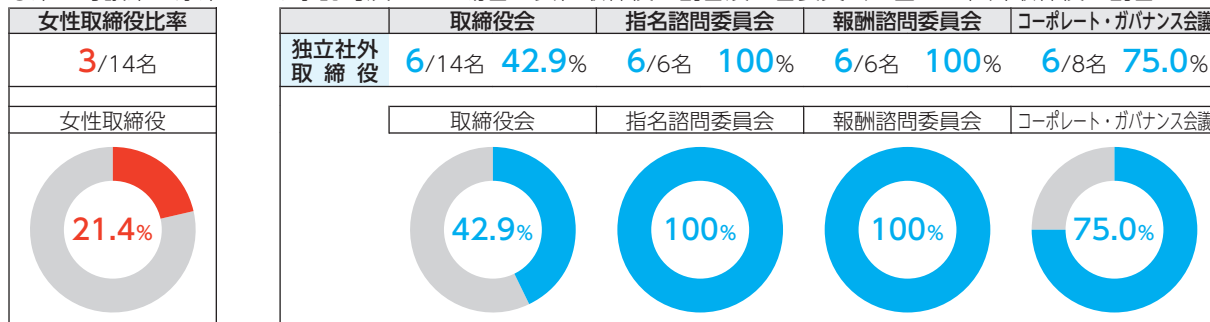
第2号議案が原案どおり承認可決された場合、取締役会及び各委員会等の構成、各取締役が有する主なスキル・経験は以下のとおりです。

氏名	本総会最終後の取締役会議長・各委員会の構成				企業経営	財務・会計・ファイナンス	人事・労務・人材開発	法務・リスクマネジメント	サステナビリティ	DX・マーケティング	不動産	ホテル・レジャー	都市交通・沿線	資本配分	資本市場・IR
	取締役会の議長	指名諮問委員会	報酬諮問委員会	コーポレート・ガバナンス会議											
後藤 高志				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
西山 隆一郎	★			○	○			○	○	○		○	○	○	○
石原 雅行					○	○		○	○		○	○		○	○
古田 善也					○	○		○						○	○
山崎 公之					○			○		○		○	○		
原田 武夫								○	○	○			○	○	○
石橋 憲司							○		○				○		
多々良 嘉浩								○	○			○			
辻 廣雅文		★	○	○	○					○					
有馬 充美		○	★	○	○	○	○		○					○	○
小林 洋子		○	○	○	○			○	○	○					
高橋 雅美		○	○	○	○					○					
池田 唯一		○	○	★		○		○							○
新井 佐恵子		○	○	○	○	○				○	○				

※各取締役の有するすべての知見や経験を表すものではありません。

※「★」については、各委員会等の議長を表しております。

●第2号議案が原案どおり承認可決された場合の女性取締役の割合及び各委員会に占める社外取締役の割合



候補者番号

1

ごとう たかし
後藤 高志

1949年2月15日生（満77歳）

所有する当社株式の数

68,630株

取締役在任年数

20年

（本総会終結時）

再任



【略歴、地位及び担当】

1972年4月 株式会社第一勧業銀行（現 株式会社みずほフィナンシャルグループ）に入行
2000年6月 同行執行役員
2000年9月 株式会社みずほホールディングス執行役員
2001年4月 同社常務執行役員
2003年3月 株式会社みずほフィナンシャルグループ常務執行役員
株式会社みずほコーポレート銀行（現 株式会社みずほ銀行）常務取締役
2004年4月 同行取締役副頭取
2005年2月 西武鉄道株式会社特別顧問
2005年5月 同社代表取締役社長
2006年2月 株式会社プリンスホテル（現 株式会社西武不動産）取締役
当社代表取締役社長
当社社長執行役員
2010年6月 西武鉄道株式会社取締役会長（現任）
2022年4月 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役
株式会社西武リアルティソリューションズ（現 株式会社西武不動産）取締役会長（現任）
2023年4月 当社代表取締役会長
当社会長執行役員兼CEO
2025年4月 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役会長（現任）
2026年4月 当社取締役会長（現任）
会長執行役員（現任）

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

西武鉄道株式会社取締役会長
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役会長
株式会社西武不動産取締役会長

■ 取締役候補者としての理由及び期待される役割

後藤高志氏は、これまでの豊富な経験と知見を活かしつつ、急激に変化する事業環境下においても強力なリーダーシップを発揮するとともに、株主・投資家との対話にも積極的な姿勢で臨み、当社グループの企業価値向上に大きく貢献してまいりました。また、大局的な視点から不動産事業を核とした成長戦略を打ち出し、着実にその成果を発現させております。2026年4月からは取締役会長として、より大局的な視点からグループの全体最適を追求することで、引き続き当社グループの中長期的な企業価値・株主価値向上に貢献するものと確信し、取締役候補者としていたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

世界経済における地政学的な問題など先行き不透明な状況が深まる中、当社の経営環境も急激に多様化・高度化しています。このような変化に適応するため、当社は「レジリエンス&サステナビリティ」をキーワードに掲げ、不動産事業を核とした成長戦略を加速させております。私自身は今後、取締役会長としてグループ全体の持続的成長に向けて大局的な視点から、長期戦略や人財戦略の着実な実行を支えることで、さまざまな社会課題の解決とトータルステークホルダーサティスファクションの向上を実現し、グループビジョンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」を体現してまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

2

にし やま りゅう いち ろう
西山 隆一郎
1964年8月30日生 (満61歳)

所有する当社株式の数

25,540株

取締役在任年数

12年
(本総会最終時)

再任



【略歴、地位及び担当】

1987年4月 株式会社第一勧業銀行（現 株式会社みずほフィナンシャルグループ）に入行
2009年10月 当社広報室長
2010年4月 当社広報部長
2013年4月 当社執行役員広報部長
西武鉄道株式会社執行役員広報部長
2013年6月 同社取締役上席執行役員広報部長
2014年6月 当社取締役
当社上席執行役員広報部長
2017年4月 株式会社プリンスホテル（現 株式会社西武不動産）取締役常務執行役員
2017年11月 当社取締役上席執行役員
2021年4月 当社取締役上席執行役員経営企画本部長
2022年4月 当社取締役常務執行役員経営企画本部長
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役常務執行役員
2023年4月 当社代表取締役社長（現任）
当社社長執行役員兼COO 経営企画本部長
2024年4月 当社社長執行役員兼COO
2026年4月 当社社長執行役員兼CEO兼COO（現任）

【当社における担当】 コンプライアンス部

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 取締役候補者とした理由及び期待される役割

西山隆一郎氏は、広報部門、管理部門、経営企画部門での豊富な経験と知見を活かし、優れたリーダーシップを発揮し、取締役社長・COOとして各施策の実行・実現にまい進しております。2026年4月からはCEO兼COOとして、予測困難な事業環境の中でも、不動産事業を核とした成長戦略を中心に、グループ全体の事業戦略や人材戦略、デジタル経営の実現に向け、使命感を持って取り組んでおります。今後も当社グループの中長期的な企業価値の向上に貢献すると確信し、取締役候補者いたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

本年4月より、代表取締役社長執行役員兼COOに加え、新たにCEOの役割を担うこととなりました。西武グループがこれまで築いてきた強固な経営基盤を土台に、不動産事業を核とし、ホテル・レジャー事業及び都市交通・沿線事業とのシナジーを一層強化し、「キャピタルリサイクル」を強力に推進することで、「西武グループ長期戦略2035」の実現に向けて次のステージへと牽引いたします。また、当社の変わらぬ基本姿勢である「グループビジョン」のもと、お客さまや地域社会とともに持続的に成長していく企業として、専門性をより一層磨くとともに、お客さまに夢と希望、感動を提供し、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していくことで、当社グループの企業価値向上に取り組んでまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

3

いし ほら まさ 伸吉
石原 雅行

1965年7月21日生（満60歳）

所有する当社株式の数

1,929株

取締役在任年数

2年
（本総会最終時）

再任



【略歴、地位及び担当】

- 1989年4月 日興証券株式会社（現 S M B C日興証券株式会社）に入社
- 2001年11月 日興アセットマネジメント株式会社債券運用部長
- 2005年8月 日興アセットマネジメント・アメリカ取締役副社長兼C I O（最高投資責任者）兼債券運用グローバルヘッド
- 2008年8月 日興アセットマネジメント株式会社運用本部C O O兼運用企画部長
- 2010年4月 同社パッシブ運用本部長
- 2013年1月 同社リスクマネジメント本部長兼C R O（最高リスク管理責任者）
- 2016年6月 P A G不動産投資顧問株式会社代表取締役社長兼C E O
- 2017年9月 P A Gプライベートリート投資法人（現 タカラレーベン不動産投資法人）執行役員
- 2018年2月 タカラP A G不動産投資顧問株式会社（現 MIRARTH不動産投資顧問株式会社）代表取締役会長兼C E O
- 2024年4月 当社顧問
- 2024年6月 **当社取締役（現任）**
当社上席執行役員
- 2025年4月 **当社常務執行役員（現任）**

【当社における担当】 不動産事業統括、第二事業戦略部

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 取締役候補者とした理由及び期待される役割

石原雅行氏は、証券会社における債券業務や資産運用会社における投資運用業務、上場J-REIT（日本版不動産投資信託）での不動産投資運用業務を通じ、株式、債券、不動産への投資ビジネス、資産運用ビジネスに関して幅広い経験と知見を有しております。当社取締役に就任後は、当社グループの不動産回転型ビジネスの大きな一歩となった東京ガーデンテラス紀尾井町の流動化を実現に導き、その後も当社グループの不動産及びホテル・レジャー事業を統括し、着実に成果を上げております。これまでの実績と知見を活かし、今後も不動産事業を中心とした当社グループの各事業のシナジーを高め、更なる資本効率性の向上、中長期的な企業価値の向上に寄与するものと確信し、取締役候補者いたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

私が統括する不動産事業においては、不動産ビジネスの各機能の強化を継続し、企業価値創造能力の向上を目指します。キャピタルリサイクルのエンジンとなる不動産運用ビジネスにおいては、「西武ファンド」の設立にむけたプロセスを確実に進めてまいります。また、不動産事業を核として、都市交通・沿線事業、ホテル・レジャー事業との連携強化をさらに推進し、沿線価値向上ならびにホテル・レジャー事業における顧客満足度を高めてまいります。今後も、西武グループのポテンシャルを引き出す戦略を立案し、確実に実行してまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

4

ふる た よし なり
古田 善也

1966年12月31日生（満59歳）

所有する当社株式の数

4,695株

取締役在任年数

4年

（本総会終結時）

再任



【略歴、地位及び担当】

1990年 4月 日本開発銀行（現 株式会社日本政策投資銀行）に入行
2009年 7月 DBJ事業投資株式会社上海事務所長
2014年 6月 株式会社日本政策投資銀行北陸支店長
2016年 6月 同行企業金融第2部長
2018年 6月 同行審査部長
2021年 6月 同行執行役員審査部長
2022年 4月 当社顧問
2022年 6月 **当社取締役（現任）**
当社上席執行役員（現任）

【当社における担当】 経理部、財務部

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 取締役候補者とした理由及び期待される役割

古田善也氏は、金融機関において企業担当、海外駐在、支店長、審査部長等の国内外での豊富な経験を有しており、執行役員としても経営に携わりました。当社取締役に就任後は経理・財務部門、IR部門の担当として、適正な財務情報の開示ならびに財務体質の強化に努め、安定した資金調達を実現するとともに、株主・投資家から適正な企業評価を得るべくIR活動を推進してまいりました。今後もこれまでの豊富な実務経験と知見を活かし、当社グループの持続的かつ力強い成長を支える取り組みを推進することで、当社グループの中長期的な企業価値向上に貢献するものと確信し、取締役候補者としたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

金融経済環境は大きく変化しておりますが、西武グループの強みを生かした企業価値向上への取り組みと資源配分を安定した財務基盤を通じて支えてまいります。株主・投資家の皆さまには長期戦略に掲げる成長投資の進捗や成果をお示しすることで適切な成長期待の醸成・適正な市場評価の実現に繋げてまいります。併せて持続的な成長に向けて財務情報とともに非財務情報開示の充実にも取り組んでまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

5

やま ざき きみ ゆき
山崎 公之

1966年7月14日生 (満59歳)

所有する当社株式の数

9,141株

取締役在任年数

3年

(本総会終結時)

再任



【略歴、地位及び担当】

- 1992年 3月 西武鉄道株式会社に入社
- 2015年 4月 同社監査部長
- 2016年 3月 同社監査・内部統制部長
- 2019年 4月 当社情報システム部長
- 2021年 4月 当社執行役員情報システム部長
西武鉄道株式会社執行役員
株式会社プリンスホテル (現 株式会社西武不動産) 執行役員
- 2022年 4月 西武鉄道株式会社常務執行役員
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド常務執行役員情報システム部長
- 2023年 6月 **当社取締役 (現任)**
当社上席執行役員情報システム部長 (現任)
西武鉄道株式会社取締役常務執行役員 (現任)
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役常務執行役員情報システム部長 (現任)

【当社における担当】 監査・内部統制部、情報システム部

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回 (出席率100%)

重要な兼職の状況

西武鉄道株式会社取締役
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役

■ 取締役候補者とした理由及び期待される役割

山崎公之氏は、情報システム部門の担当として、グループ主要会社の情報システム部門の統合、管理系基幹システムのグループ共通化を推進するなど、業務効率化及び生産性向上に貢献してまいりました。2024年度以降の中長期戦略においても「デジタル経営」は当社グループの価値創造に不可欠であり、情報システム分野における豊富な実務経験と、それにより培われた知見を活かして、情報システムインフラの構築・最適化及び内部統制システムの高度化を推進し、当社グループの企業価値向上に寄与するものと確信し、取締役候補者としていたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

AIに代表されるデジタル技術の目覚ましい進歩は、お客さまの新たな感動の創造という当社グループの理念の実現において、さまざまな可能性を与えるものと期待しております。サイバーセキュリティに十分注力したうえで、進化したデジタル技術に積極的に取り組むことにより、すべてのステークホルダーの皆さまにとって、さらに魅力的なグループになるよう、努めてまいります。また、内部監査・J-SOXを通じて、内部統制の目的とするところを達成し、業務運営が適切に行われるよう、努めてまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

6

原田 武夫

1971年7月26日生 (満54歳)

所有する当社株式の数

3,784株

取締役在任年数

—

新任



[略歴、地位及び担当]

1995年 4月 西武鉄道株式会社に入社
2015年 7月 当社経営企画部経営戦略室長
2017年 4月 当社経営戦略部長
2018年 4月 当社社長室長
2019年 4月 当社社長室長兼経営戦略部長
2021年 1月 当社経営戦略部長
2022年 4月 当社執行役員経営戦略部長兼DX・マーケティング戦略部長
2024年 4月 当社上席執行役員経営企画本部長 (現任)

[当社における担当] 経営企画本部

2025年度における取締役会への出席状況

—

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 取締役候補者とした理由及び期待される役割

原田武夫氏は、主に経営企画部門において経験を重ね、2014年の当社株式の東証一部上場に大きな役割を果たしたほか、経営戦略部長としてコロナ禍を踏まえたビジネスモデルの変革に取り組みました。2024年度からは経営企画本部長として不動産事業を核とした成長戦略への転換を図るなど、当社グループの経営戦略の策定や、各種施策の実行を主導してまいりました。こうした広範な業務を通じて得た豊富な知識と経験を活かし、当社が取り組む「西武グループ長期戦略2035」を推進し、当社グループの中長期的な企業価値向上に貢献するものと確信し、取締役候補者としていたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

西武グループは「長期戦略2035」の策定により新たなステージに入りました。不動産、ホテル・レジャー、都市交通・沿線の事業を組み合わせることで、グループとして独自の体験価値を創造し、スローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」を実現するとともに、キャピタルリサイクルにより資本効率性を高めることで、中長期的な企業価値・株主価値の向上ができると確信しております。自らの知識・経験を活かし諸課題の解決に全力を尽くす所存です。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

※同氏が所有する当社株式の株は、2026年3月31日現在の株式数であり、社員持株会名義で所有する持分株数を含めておりません。

候補者番号

7

いし ぼし けん じ
石橋 憲司

1969年11月27日生 (満56歳)

所有する当社株式の数

1,574株

取締役在任年数

—

新任



【略歴、地位及び担当】

1992年 3月 西武鉄道株式会社に入社
2017年 4月 同社執行役員運輸部長
2023年 4月 当社執行役員人財戦略部長
西武鉄道株式会社常務執行役員
2023年 9月 同社常務執行役員人事部長
2025年 4月 **当社上席執行役員人財戦略部長 (現任)**
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
常務執行役員
2026年 4月 **西武鉄道株式会社常務執行役員 (現任)**

【当社における担当】人財戦略部

2025年度における取締役会への出席状況

—

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 取締役候補者としての理由及び期待される役割

石橋憲司氏は、主に鉄道部門、人事部門において豊富な知識と経験を有しており、西武鉄道では運輸部長として安全・安心な輸送の維持及び集客施策立案等に努めました。また、2023年4月より当社の人財戦略部長として採用・育成・評価・配置といったあらゆる面で新たな戦略を打ち出し、多くの成果を上げております。今後も人財戦略を統括し、「西武グループ人財戦略」を推進することで、「西武グループ長期戦略2035」の実現を支え、当社グループの中長期的な企業価値向上に貢献するものと確信し、取締役候補者いたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

事業環境が目まぐるしく変わりますが、「人財」の重要性は今もこれからも変わりません。社員を起点として西武グループの価値向上が図れるよう、「人の成長」「エンゲージメント」「DEI」の3本柱を推進してまいります。多様な個性が輝き、社員一人ひとりが「ほほえみ」をもって躍動する組織こそが、持続的な成長の原動力です。人的資本の最大化を通じて、ステークホルダーの皆さまの期待に応える企業価値を創造し続けます。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

※同氏が所有する当社株式の株は、2026年3月31日現在の株式数であり、社員持株会名義で所有する持分株数を含めております。

候補者番号

8

た た ら よ し ひ ろ
多々良 嘉浩

1967年5月17日生 (満59歳)

所有する当社株式の数

225株

取締役在任年数

—

新任



【略歴、地位及び担当】

1990年4月 国土計画株式会社（現 株式会社西武不動産）に入社
2021年4月 同社広報部長
2022年4月 当社広報部長
2023年4月 当社執行役員広報部長
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド常務執行役員広報部長（現任）
2026年4月 当社上席執行役員広報部長（現任）

【当社における担当】広報部

2025年度における取締役会への出席状況

—

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 取締役候補者とした理由及び期待される役割

多々良嘉浩氏は、当社グループにおいて主にホテル事業の広報部門での経験を重ね、メディア戦略やリスクマネジメントに関する幅広い知見を有しております。2023年4月からは広報部門の責任者として、それまで培った知識と経験に加え、広報活動で得たネットワークを最大限に活かし、当社ならびにグループ各社の企業イメージ向上に努めてまいりました。今後も不動産事業を核とした企業グループとしての競争力をより一層高めるための広報戦略を推進することで、当社グループの企業価値向上に貢献するものと確信し、取締役候補者といたしました。

取締役候補者から株主さまへのメッセージ

企業を取り巻く環境が複雑化する現代において、当社が持続的な成長を遂げるためには、長期戦略や非財務情報をステークホルダーの皆さまに深くご理解いただき、共感の輪を広げていくことが不可欠です。社会との多様なコミュニケーション活動を通じて「西武ファン」を拡大していくとともに、リスク事案においては迅速かつ誠実な広報対応を徹底し、信頼をより強固なものにしてまいります。また、西武グループの羅針盤である「グループビジョン」のもと、国内外の従業員がより一層シナジーを発揮できる組織風土を醸成してまいります。社会との対話を経営の活力に変え、グループの企業価値向上に貢献すべく、誠心誠意取り組んでまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

※同氏が所有する当社株式の株は、2026年3月31日現在の株式数であり、社員持株会名義で所有する持分株数を含めております。

候補者番号

9

つじ ひろ まさ あみ
辻 雅文
1958年7月5日生（満67歳）

所有する当社株式の数

2,361株

社外取締役在任年数

8年
（本総会終結時）

再任

社外

独立役員

【略歴、地位及び担当】



1981年4月 株式会社ダイヤモンド社に入社
2001年4月 同社週刊ダイヤモンド編集長
2004年9月 同社マーケティング局長
2006年6月 同社取締役
2014年6月 株式会社プリンスホテル（現 株式会社西武不動産）社外取締役
2015年4月 帝京大学経済学部教授（現任）
2018年4月 西武鉄道株式会社取締役
2018年6月 当社社外取締役（現任）
2020年4月 株式会社プリンスホテル取締役
2022年4月 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役
株式会社西武リアルティソリューションズ（現 株式会社西武不動産）取締役
2023年4月 帝京大学短期大学現代ビジネス学科長（現任）

2025年度における取締役会への出席状況
22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

帝京大学経済学部教授
帝京大学短期大学現代ビジネス学科長

■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

辻雅文氏は、長きにわたり経済誌の編集長を務め、現在は帝京大学経済学部教授として、日本経済及び企業経営に関する高い専門性と豊富な経験、高い見識を有しております。昨今の事業環境の変化への適応が求められるなかで、経済動向を踏まえた経営判断や方向性の示唆等、専門家としての発言やDX戦略やマーケティングに係る助言は、当社の取締役会の活性化及び当社グループの持続的成長に貢献しております。また、当社の報酬諮問委員会の議長として、取締役の企業価値向上に対するインセンティブを高める役員報酬制度の構築において、中心的な役割を果たしました。今後も経済動向に基づく経営判断や方向性に係る助言、DX戦略やマーケティングに係る助言等を通じ、当社グループの中長期的な企業価値の極大化に寄与するものと考え、社外取締役候補者としていたしました。

社外取締役候補者から株主さまへのメッセージ

西武グループが中長期計画に則って企業価値を増大し、持続的な成長を実現するためには、経済・経営環境の変化や社会における価値多様化に適応しながら、適切な事業ポートフォリオを構築して経営資源を的確に配分するとともに、個々の事業の競争優位性を高める戦略展開をおこなうことが重要となります。これらの経営施策を、可変的かつスピード感を持って推進していくために、企業の経営経験及び経済学者としての競争戦略論やDXに関する知見を活かして、貢献してまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

※同氏は、2014年6月から2018年3月まで当社の連結子会社である株式会社プリンスホテルの社外取締役、2020年4月から2022年3月までは同社の非業務執行の取締役でありました。また、2018年4月から2023年4月までは当社の連結子会社である西武鉄道株式会社の非業務執行の取締役、2022年4月から2023年4月までは当社の連結子会社である株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド及び株式会社西武リアルティソリューションズの非業務執行の取締役でありました。

候補者番号

10

あり ま あつ み
有馬 充美

1962年8月11日生 (満63歳)

所有する当社株式の数

4,831株

社外取締役在任年数

5年
(本総会終結時)

再任

社外

独立役員

【略歴、地位及び担当】



1986年4月 株式会社第一勧業銀行（現 株式会社みずほフィナンシャルグループ）に入行
2013年4月 株式会社みずほ銀行A・L・Cアドバイザー部長
2014年4月 同行執行役員コーポレートアドバイザー部長
2016年4月 同行執行役員国際営業部長
2017年12月 同行退職
2019年4月 西武鉄道株式会社社外取締役
株式会社プリンスホテル（現 株式会社西武不動産）社外取締役
2020年5月 株式会社高島屋社外取締役（現任）
2021年6月 当社社外取締役（現任）
西武鉄道株式会社取締役
株式会社プリンスホテル取締役
2022年4月 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役
株式会社西武リアルティソリューションズ（現 株式会社西武不動産）取締役
2026年3月 キヤノン株式会社社外取締役（現任）

2025年度における取締役会への出席状況

21/22回（出席率95.5%）

重要な兼職の状況

株式会社高島屋社外取締役
キヤノン株式会社社外取締役

■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

有馬充美氏は、メガバンクで執行役員を務めるなど、これまでの経歴から豊富でグローバルな知見・経験を有しております。昨今の事業環境の変化に適応していくなかで、経営戦略・計画の立案や施策の実行に関することに加え、人材育成、ダイバーシティ、サステナビリティのほか、当社のIR活動においても一般株主・投資家の視点を踏まえた助言を得ております。また、当社のコーポレート・ガバナンス会議の議長として、コーポレート・ガバナンスの一層の推進に貢献してまいりました。有馬氏の知見や経験に基づく大所高所からの意見を当社の経営に活かすことで、当社グループの中長期的な企業価値の極大化を一層はかることができると考え、社外取締役候補者といたしました。

社外取締役候補者から株主さまへのメッセージ

昨年度は実行中の中期経営計画の2年目として、各事業が着実に種をまいているかどうかを主にモニタリングしてまいりました。その結果、西武鉄道では運賃の改定、ホテル・レジャー事業や不動産事業におけるM&A等を通じて、グループの企業価値向上に寄与することができたと考えております。またこれらの事業を支える従業員の処遇や職場環境の改善にも引き続き注力してまいりました。私は社外取締役として、またコーポレート・ガバナンス会議の議長として培った経験を活かし、成長投資の効果を確実なものとするべく、戦略の執行状況やその結果を適切にモニタリングし、経営資源の配分や意思決定構造に目配りすることで、現場の挑戦を後押しし、さまざまなステークホルダーの皆さまの期待に応えていく所存です。

※同氏は、2019年4月から当社の連結子会社である西武鉄道株式会社及び株式会社プリンスホテルの社外取締役でありましたが、2021年6月からは両社の非業務執行の取締役となり、株式会社プリンスホテルでは2022年3月まで、西武鉄道株式会社では2023年4月まで務めました。また、2022年4月から2023年4月までは当社の連結子会社である株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド及び株式会社西武リアルティソリューションズの非業務執行の取締役でありました。また、同氏は、2017年12月まで当社の特定関係事業者である株式会社みずほ銀行の業務執行者でありましたが、同氏が同行を退職してからすでに8年以上が経過しておりますので、同氏の独立性に影響を与えるものではないと判断しております。

候補者番号

11

こ ばやし よう こ
小林 洋子

1955年5月24日生（満71歳）

所有する当社株式の数

660株

社外取締役在任年数

2年

（本総会最終時）

再任

社外

独立役員

【略歴、地位及び担当】

1978年4月 日本電信電話公社（現 NTT株式会社）に入社
2002年8月 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
（現 NTTドコモビジネス株式会社）コンシューマ
& オフィス事業部OCNサービス部長
2006年8月 同社ネットビジネス事業本部OCNサービス部長
2008年6月 同社取締役法人事業本部チャネル営業本部長
2010年6月 エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社（現 NTTド
コモビジネスチェオ株式会社）取締役社長
2014年6月 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社監査役
2020年6月 株式会社大林組社外取締役
2024年6月 **当社社外取締役（現任）**



2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

小林洋子氏は、NTTグループの会社の代表取締役などの要職を歴任し、新規事業への進出、ICT戦略に関する豊富な知見・経験を有しております。同氏の知見や経験に基づく大所高所からの意見を当社の経営に活かすことで、コーポレート・ガバナンスの運営・監督機能を高め、当社グループの中長期的な企業価値の極大化を一層はかることができると考え、社外取締役候補者いたしました。

社外取締役候補者から株主さまへのメッセージ

不動産、ホテル・レジャー、鉄道をはじめとする西武グループの多彩な事業が持続的な成長を遂げるためには、各事業が有機的に連携し新たな価値を創造するシナジーの実現が重要であり、その鍵になるものがデータドリブン経営であると考えます。これまでのNTTグループでのICT、新規事業、企業経営等の知見を活かし、当社の経営戦略、DX推進への助言を行ってまいります。また、社外取締役として独立した立場から経営の透明性と実効性のモニタリングをおこなうことによって、当社グループの企業価値向上に貢献していく所存です。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

12

たか はし まさ み
高橋 雅美

1959年9月11日生（満66歳）

所有する当社株式の数

329株

社外取締役在任年数

2年
（本総会終結時）

再任

社外

独立役員

【略歴、地位及び担当】



- 1984年4月 電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社（現 株式会社電通ランウェイ）に入社
- 1986年9月 レオ・バーネット協同株式会社に入社
- 1996年9月 日本コカ・コーラ株式会社に入社
- 1999年4月 エレクトロニック・アーツ株式会社に入社
- 2004年9月 ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社マーケティングエグゼクティブディレクター
- 2015年8月 ワーナーブラザースジャパン合同会社マーケティング担当ヴァイスプレジデント
- 2016年9月 同社社長兼日本代表
- 2020年8月 ワーナーブラザーススタジオジャパン合同会社代表社員職務執行者
- 2021年1月 ワーナーメディアグループ日本代表（カントリーマネージャー）
- 2021年10月 ターナージャパン株式会社代表取締役社長
- 2022年6月 ワーナーブラザース・ディスカバリー グループ 日本代表（カントリーマネージャー）
- 2024年6月 **当社社外取締役（現任）**

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

高橋雅美氏は、日米の広告会社、日本コカ・コーラ、ウォルト・ディズニー・ジャパン等で新規ビジネスやブランドビジネスの再構築をおこない、ワーナーブラザースジャパン社長兼日本代表として同社の日本におけるすべてのビジネスを統括するなど、企業経営者としての知見・経験を有しております。こうした多様な知見や経験に基づく大所高所からの意見を当社の経営に活かすことで、コーポレート・ガバナンスの運営・監督機能を高め、当社グループの中長期的な企業価値の極大化を一層はかることができると考え、社外取締役候補者となりました。

社外取締役候補者から株主さまへのメッセージ

西武グループは大きな成長の機会を有しています。成長の核となる不動産をはじめ国内・海外で展開するホテル、都市交通、球団経営など多様な事業を展開しています。一方成長の実現には効率的な投資判断と成長戦略のタイムリーな実行そして事業間シナジーの向上が必要です。私は企業・ブランドの運営に携わった経験を生かし、独立的な立場から成長戦略の実現と中長期の収益力アップ、それによる企業・株主価値の向上に寄与していく所存です。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

13

いけ だ ゆう いち
池田 唯一

1959年10月2日生（満66歳）

所有する当社株式の数

0株

社外取締役在任年数

2年
（本総会終結時）

再任

社外

独立役員

【略歴、地位及び担当】



1982年4月 大蔵省（現 財務省）に入省

2010年7月 金融庁総務企画局参事官（開示担当）

2011年8月 金融庁総務企画局審議官（開示担当）

2012年7月 関東財務局金融商品取引所監理官兼金融庁総務企画局
審議官（企画・市場担当）

2013年6月 金融庁総務企画局審議官（監督局担当）

2014年7月 金融庁総務企画局長

2018年8月 日本銀行 理事

2021年9月 株式会社ハウズドゥ（現 株式会社And Doホールデ
ィングス）社外取締役

2024年6月 **当社社外取締役（現任）**

2025年度における取締役会への出席状況

22/22回（出席率100%）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

池田唯一氏は、長きにわたり大蔵省、金融庁及び日本銀行での要職を歴任するなど、これまでの経歴から、豊富な経験と知見を有しております。わが国の金融経済の中核で培われた金融・資本市場に関する同氏の知見や経験に基づく意見を当社の経営に活かし、当社のコーポレート・ガバナンスの実効性と資本市場における当社の優位性を高めることで、当社グループの中長期的な企業価値の極大化を一層はかることができるものと考え、社外取締役候補者いたしました。

社外取締役候補者から株主さまへのメッセージ

当社グループは、公共性の高い事業を営む企業グループとして、地域・社会の発展や環境の保全への貢献、安全で快適なサービスの提供などを理念として掲げています。同時に、資本コストを意識した経営を通じて企業価値を持続的に向上させるべく、「西武グループ長期戦略2035」を策定し、事業の改革を進めております。不透明さを増す国際情勢などのリスクに適切に対応しつつ、改革が確実に進捗していくよう、実効性あるガバナンスの発揮に努めてまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

候補者番号

14

あら い さ え こ
新井 佐恵子

1964年2月6日生 (満62歳)

所有する当社株式の数

0株

社外取締役在任年数

—

新任

社外

独立役員

【略歴、地位及び担当】

1987年10月 英和監査法人 (現 有限責任あざ監査法人) に入所
1992年 8月 公認会計士登録 (1997年1月再登録)
1993年10月 佐々木公認会計士事務所に入所
1997年 4月 株式会社インターネット総合研究所 (IRI) に入社
1998年 9月 同社取締役管理本部長兼CFO
2000年 2月 IRI USA, Inc. CFO, Director
2002年11月 同社President, Chief Executive Officer and Secretary, Director
2018年 6月 大日本住友製薬株式会社 (現 住友ファーマ株式会社) 社外取締役
2018年 6月 東急不動産ホールディングス株式会社 社外取締役
2024年 3月 花王株式会社 社外監査役 (現任)
2025年 6月 コニカミノルタ株式会社 社外取締役 (現任)



2025年度における取締役会への出席状況

—

重要な兼職の状況

花王株式会社社外監査役
コニカミノルタ株式会社社外取締役
公認会計士

■ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

新井佐恵子氏は、公認会計士としての財務・会計に関する専門知識に加え、企業においてCFOや海外現地法人の代表としての経営経験、複数の企業での取締役や監査役としての経験などから、豊富でグローバルな知見・経験を有しております。同氏の企業経営や財務・会計に関する知見や経験に基づく大所高所からの意見を当社の経営に活かすことで、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値の極大化を一層はかることができるものと考え、社外取締役候補者としていたしました。

社外取締役候補者から株主さまへのメッセージ

専門知識と経験を最大限に活かし、多様なステークホルダー、特に少数株主の立場から、ガバナンス及びROEや収益力、資本効率とともにNAVが成長する施策についてモニタリングと積極的な意見交換をおこないながら、市場における西武グループへの理解促進に努めてまいります。また、グループ宣言の一つに掲げられている「挑戦すること」について適切なリスクをとりながら実行していく状況を監督し、「西武グループ長期戦略2035」における「育成期」に向けて、さらなる企業価値増大に資するよう尽力してまいります。

※同氏と当社との間には特別の利害関係はありません。

ご参考

●取締役候補者の指名の方針及び手続

取締役候補者の選定にあたっては、再任者については、任期中の企業価値向上等への貢献をふまえて再任に相応しいか否かを審議し、新任者については、優れた人格・識見を有しているか、また企業価値向上に貢献しうる人財であるか否かを審議しております。あわせて、取締役会全体として、取締役会の役割・責務を実効的に果たすための知識・経験・能力を有しているか否かを審議するとともに、各候補者のジェンダー・国際性・職歴・年齢の面を含む多様性も考慮し決定しております。

取締役候補者の決定に際しては、客観性・透明性を確保するため独立社外取締役が議長を務め、すべての委員を独立社外取締役とする指名諮問委員会への諮問を経て取締役会で決定しております。

第3号議案 監査役3名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役中川義秀、柳澤義一、阪本智宏の3名は任期満了となります。つきましては、監査役3名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案の提出につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

また、当社における社外役員の独立性判断基準は、29ページをご参照ください。

候補者番号		所有する当社株式の数	監査役在任年数
1	<small>い い だ み つ お</small> 飯田 光男 1966年2月13日生（満60歳）	3,198株	—

新任



【略歴及び地位】

1989年3月 西武鉄道株式会社に入社
2012年4月 同社監査部長
2015年4月 株式会社西武ライオンズ取締役
2017年4月 同社常務取締役
2019年1月 同社常務取締役球団本部長
2025年1月 同社常務取締役
2026年4月 西武鉄道株式会社常勤監査役（現任）

2025年度における取締役会への出席状況

—

2025年度における監査役会への出席状況

—

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■ 監査役候補者とした理由

飯田光男氏は、西武鉄道の監査部長や西武ライオンズの常務取締役を歴任し、各社において内部統制の強化や、リスク管理・コンプライアンス遵守の推進に貢献してまいりました。現在は、西武鉄道の監査役も務めており、適切に監査機能を果たし、その役割を通じてコーポレート・ガバナンス体制の強化に寄与するものと確信し、監査役候補者としていたしました。

監査役候補者から株主さまへのメッセージ

激しく変化する事業環境の中で、すべてのステークホルダー、社会からの信頼、期待に応えられるよう、自己研鑽を重ねながら、これまでの経験を生かし公正不偏の姿勢で真摯に業務に取り組み、健全性を確保しつつ、グループの持続的な成長と価値向上に貢献してまいります。

※同氏が所有する当社株式の数は、2026年3月31日現在の株式数であり、社員持株会名義で所有する持分株数を含めて記載しております。

候補者番号

2

やなぎさわ ぎいち
柳澤 義一
1956年8月3日生（満69歳）

所有する当社株式の数

0株

社外監査役在任年数

4年
（本総会最終時）

再任

社外

独立役員

【略歴及び地位】

1985年 3月 公認会計士登録
柳澤公認会計士事務所設立
1985年 5月 税理士登録
2000年 6月 新創監査法人代表社員
2003年 6月 東急リアル・エステート投資法人監督役員
2011年 4月 **新創監査法人統括代表社員（現任）**
2015年 6月 株式会社永谷園（現 株式会社永谷園ホールディングス）
社外監査役
2022年 6月 **当社社外監査役（現任）**
2025年 6月 **株式会社サンテック社外取締役（現任）**



2025年度における取締役会への出席状況

21/22回（出席率95.5%）

2025年度における監査役会への出席状況

16/16回（出席率100%）

重要な兼職の状況

株式会社サンテック社外取締役
公認会計士
税理士

■ 社外監査役候補者とした理由

柳澤義一氏は、公認会計士及び税理士として、財務及び会計に関する高い専門性と豊富な経験、高い見識を有しております。また、当社との間には特別な利害関係はなく、公正・中立な立場から監査をおこなうとともに、財務・税務・会計の観点や、これまでの幅広い経験に基づく助言・提言を得ております。今後も、適切に監査機能を果たし、その役割を通じてコーポレート・ガバナンス体制の強化に寄与するものと確信し、社外監査役候補者としていたしました。

社外監査役候補者から株主さまへのメッセージ

企業価値の評価は財務情報だけでなく、サステナビリティ情報も合わせた統合報告によりますが、財務情報と非財務情報のコネクティビティが重要です。これらの情報の適正性を担保するため、公認会計士としての知見、監査法人経営の経験を活かしていきます。当社の会計監査人とのコミュニケーションも充実させます。この4年間当社グループの様々な事業所に向き、社外の立場から当社のビジネスに触れてきました。お客様一人ひとりのライフスタイルに寄り添う素晴らしいビジネスを展開しており、その成長可能性は無限にあると信じています。それを支えるガバナンスの一翼を担ってまいります。

候補者番号

3

さかもと ちひろ
阪本 智宏
1974年2月13日生 (満52歳)

所有する当社株式の数

1,384株

社外監査役在任年数

4年
(本総会最終時)

再任

社外

独立役員

【略歴及び地位】

2000年 4月 弁護士登録
濱田法律事務所に入所
2003年 4月 設楽・阪本法律事務所に入所
2022年 6月 **当社社外監査役 (現任)**



2025年度における取締役会への出席状況
22/22回 (出席率100%)
2025年度における監査役会への出席状況
16/16回 (出席率100%)

重要な兼職の状況

弁護士

■ 社外監査役候補者とした理由

阪本智宏氏は、弁護士として、企業法務に関する高い専門性と豊富な経験、高い見識を有しております。また、当社との間には特別な利害関係はなく、公正・中立な立場から監査をおこなうとともに、当社グループの事業におけるリスク管理やコンプライアンス対応について助言・提言を得ております。今後も、適切に監査機能を果たし、その役割を通じてコーポレート・ガバナンス体制の強化に寄与するものと確信し、社外監査役候補者としていたしました。

社外監査役候補者から株主さまへのメッセージ

当社はコロナ禍や不安定な国際情勢など近年の多くの課題に適切に対応し、大きな進化を遂げてきました。私は、これまでの弁護士としての培った経験に加え、当社の社外監査役として積み重ねてきた情報と知見を活かし、引き続き独立した立場から意見を申し上げ、必要な往査をおこなうことで、当社グループのさらなる挑戦と堅実な成長に寄与していきたいと思っております。

※同氏が所有する当社株式の数は、2026年3月31日現在の株式数であり、役員持株会名義で所有する持分株数を含めて記載しております。

【監査役候補者3名に関する注記】

- 各候補者と当社との間には特別な利害関係はありません。
- 各候補者の年齢は、本総会最終時の満年齢となります。
- 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しており、当該保険契約の内容の概要は、第21回定時株主総会ご報告の21ページに記載のとおりです。各候補者は、現職において当該保険契約の被保険者となっており、本議案において選任が承認された場合、引き続き被保険者となります。また、各候補者とも、次回更新時には、同内容での更新を予定しております。

【社外監査役候補者2名に関する注記】

- 当社は、柳澤義一及び阪本智宏の両氏との間で会社法第423条第1項の賠償責任を会社法第425条第1項に定める最低責任限度額に限定する責任限定契約を締結しており、両氏の再任が承認された場合は、当該責任限定契約を継続する予定であります。
- 当社は、柳澤義一及び阪本智宏の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、両氏の再任が承認された場合は、引き続き独立役員として届け出る予定であります。

ご参考

●西武ホールディングス社外役員の独立性判断基準

当社は、東京証券取引所が定める独立性基準に加え、以下の各要件のいずれにも該当しない者は、独立性を有するものと判断する。

- (1) 「過去3事業年度のいずれかにおいて、当社の連結売上の2%以上を占める取引先」の業務執行者
- (2) 「過去3事業年度のいずれかにおいて、当社が売上の2%以上を占める取引先」の業務執行者
- (3) 「過去3事業年度のいずれかにおいて、当社の連結総資産の2%以上を占める借入先」の業務執行者
- (4) 「過去3事業年度のいずれかにおいて、出資比率10%以上の当社の主要株主及び出資先」の業務執行者
- (5) 過去3事業年度のいずれかにおいて、当社から年間10百万円超の報酬を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- (6) 過去3事業年度の平均で、当社から年間10百万円超の寄付又は助成を受けている者、又は組織の業務執行者
- (7) 当社及び連結子会社の取締役等の配偶者又は二親等以内の親族

以上

2025年度業績サマリー・重視する経営指標

営業収益	営業利益	償却前営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益
5,132億86百万円 前期比43.0%減	455億22百万円 前期比84.4%減	1,028億65百万円 前期比70.4%減	388億57百万円 前期比84.9%減
ROE	ROA	自己資本比率	格付け機関の評価
6.9% 前期比45.4ポイント減	2.2% 前期比12.7ポイント減	32.9% 前期比2.2ポイント増	A格 前期から維持

※保有物件の流動化や国内ホテル業におけるインバウンド需要の取り込み、鉄道業における需要の増加などがあるものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の流動化を実行した反動などにより、対前年で減収減益となりました。

セグメント別業績サマリー



不動産事業

開発・賃貸業、
投資運用業、
マネジメント業など



ホテル・レジャー事業

国内ホテル業（保有・リース）、
国内ホテル業（MC・FC）、
海外ホテル業（保有・リース）、
海外ホテル業（MC・FC）など



都市交通・沿線事業

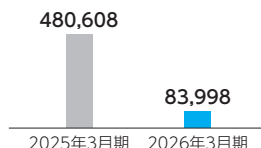
鉄道業、バス業、
沿線生活サービス業など



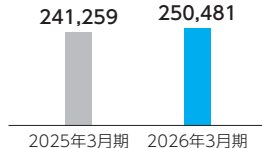
その他

スポーツ事業、伊豆箱根事業、
近江事業、新規事業

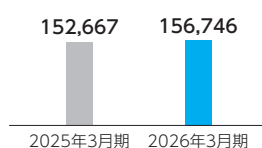
営業収益 (単位: 百万円)



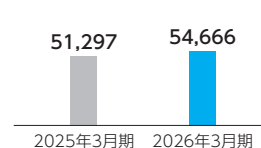
営業収益 (単位: 百万円)



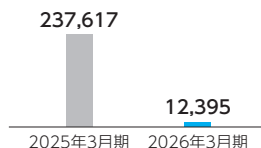
営業収益 (単位: 百万円)



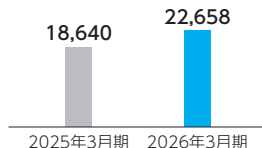
営業収益 (単位: 百万円)



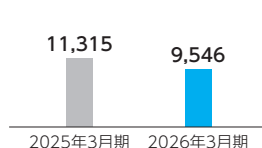
営業利益 (単位: 百万円)



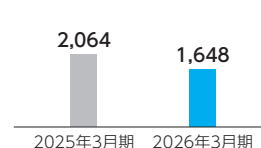
営業利益 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



詳しい内容については
当社ホームページをご覧ください。

[西武ホールディングスホームページ](#)>[IR情報](#)>[IR資料](#)>[決算関連資料](#)

西武ホールディングス 決算関連資料

検索



スマート行使で議決権行使していただき、
アンケートに回答された株主さまへの
プレゼント企画

スマート行使で議決権行使かつアンケートに回答いただいた株主さまの中から、抽選で100名さまにつき1名さまの割合で「SEIBU Smile POINT 1,000ポイント」や「Lポイント 1,000ポイント」を進呈いたします。詳しくは本招集ご通知とあわせてお送りしております書面をご覧ください。

株主総会会場 ご案内図

開催会場

埼玉県所沢市
くすのき台一丁目11番地の2
西武第二ビル（8階）
くすのきホール



交通のご案内

西武池袋線・西武新宿線
「所沢駅」東口徒歩1分

「所沢駅」から株主総会会場までの徒歩経路は「→」のとおりです。
エレベーターやバリアフリー通路をご利用の株主さまも同経路をお進みください。



お願い

- ・駐車場のご用意はございませんので、お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。
- ・当日ご出席の株主さまへお土産や乗車券のご用意はございません。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。



Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。